

教科	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取組）	成果(○)と課題(△)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを分かりやすく相手に話したり、文章に表したりすることに課題がある。 ・段落分け、句読点の打ち方が適切でない児童がいる。 ・俳句、自由詩といった方法を用いて、自分の思いを表現する活動に意欲的に取り組んだ。 ・物語文では、人物の行動や会話、情景描写から心情を読み取り、それを交流することで更に考えを深めていた。 ・文章から必要な情報を取捨選択したり、全体像をつかんだりする力を高める必要がある。 ・文法、文字や語句、漢字の理解に個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの機会をもち、聴き手に応じた話し方を心掛けたり、資料の効果的な活用方法を工夫したりさせる。 ・事実と感想、意見を区別しながら書くことを習慣付けるとともに、推敲したり、友達と読み合ったりして、表現力を高める。 ・季節や行事に応じた作品作りを今後も継続する。廊下に掲示し、お互いの作品に触れさせることで、更に意欲や表現力を高める。また、親しみやすい古文や漢文の音読を通して、言葉の響きやリズムに親しませる。 ・友達と意見を交流する機会を多く設け、自分の考えを話したり、友達の考えを聴いたりすることの楽しさを味わえるようにする。 ・文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄に注目しながら要旨やあらすじを捉えるよう指導する。また、目的に応じて文章と図表を結び付け、必要な情報を意識して読ませる。 ・けやきタイムなどを利用し、文法や漢字の学習を行う。国語辞典を引く習慣が身に付くよう、環境を整える。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・人々のくらしが地形や気候といった地域の特色と密接につながっていることを理解した。 ・学習したことから疑問を見付け、更に調べたり、他教科の学習と結びつけて考えたりするようになってきた。 ・調べるために適切な資料を選択できるようになってきた。 ・複数の資料の中から適切な情報を読み取ることに課題がある。 ・地図の読み取りが十分でない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートの学習感想などを通して児童の考察を把握し、興味が深まるような課題につなげる。 ・横断的な考察が見られたときは、それを全体で共有できるように広める。また、自主的な調べ学習を奨励する。 ・タブレットを活用して資料を見付け、調べ学習に取り組む機会をもつ。 ・資料を読む際、資料の特性や具体例を示して読み取るポイントを伝える。 ・地図を見ることを楽しむ機会をもつ。 ・日頃から世の中のニュースや出来事を意図的に取り上げ、地図や地球儀を活用する。その際に、方位や位置関係、範囲など読み取る技能を身に付けられるように指導する。 	

算数	<ul style="list-style-type: none"> 既習内容を生かして課題解決を図ろうとしている。 複数の解法で答えを導き出そうとする児童が増えてきた。 丁寧に問題を解いたり、深く考えたりすることが苦手な児童がいる。 問題場面を図や数直線、言葉、式でノートに表し、それぞれを関連付けながら簡潔な言葉で説明する力を高める必要がある。 計算力、文章問題の理解、コンパスや分度器などの用具の使い方について個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎基本の理解を深めるために、けやきタイムで、東京ベーシックドリルなどに繰り返し取り組ませる。 答えの見通しをもって計算したり、検算をしたりする習慣を身に付けさせる。 問題場面を図や数直線、言葉、式など、多様な方法でノートに表現するよう促す。また、図や式、言葉を用いて説明するよさを理解できるよう、引き続き指導する。 ドリルやプリントなどで理解度を把握し、個別に指導する。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> 動植物に興味がある児童が多く、実験や観察に意欲的に取り組む。 学習したことから疑問を見付け、更に調べたり、他教科の学習と結びつけて考えたりするようになってきた。 目的意識をもたずに実験に臨んでしまい、実験をし、何が分かったのか、理解できていないことがある。 実験や観察の結果を分かりやすく表し、結論を導き出す力を高める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ノートの学習感想などを通して児童の考察を把握し、興味が深まるような課題につなげる。 横断的な考察が見られたときは、それを全体で共有できるように広める。また、自主的な調べ学習を奨励する。 実験の目的を明確にできるよう仮説を確認し、それを確かめるための実験方法を自分たちで考えるようにする。 問題、仮説・予想、実験方法、結果、考察を整理して板書する。 結果から言えることを考察し、ノートに簡潔に書くことを積み重ねる。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 響きをもったやわらかい歌声が出せるようになってきている。異なる旋律の重なりを理解して歌えるようになった。 リコーダーの指遣いや奏法を復習しながら学習を進めた。タンギングは今後も意識し続ける必要がある。サミングが多く使われている曲をじっくりと取り組んで吹くことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲想を感じ取って歌声に表す力があるため、その力を生かせるような音域や曲想の変化を理解しやすい教材を精査する。歌声の重なりを感じ取って響きが豊かになる心地よさを今後も味わえるようにする。 指の動きとタンギングが一致するよう、各自が練習したい部分を取り出して、ゆっくり演奏することから取り組むなどの工夫をする。 	

図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・図工の学習に意欲的に取り組んでいる。 ・自分からつくりたいイメージをもつことができる。 ・自力解決や自分の感覚を通して形や色を捉えることに課題がある ・自分や友達の作品のよさや、身近な材料を工夫して取り入れるよさなどに気付く力をつけていくことが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験的な学びから自分のイメージがもてるようにする。 ・表したいものに応じて経験した技法を選択できるようにする。 ・自分や友達のよさに気付くよう教師が言葉かけを行う。鑑賞活動の設定。 	
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・裁縫では、初めての活動に慣れない児童が多いが意欲は高い。 ・実習などが制限されるため、衣食住に関する様々な用語を、実感を伴って理解すること、技術の定着を図ることに難しさがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・操作方法や実習手順を図や動画で提示する。 ・生活と結び付けて学習できるように、家庭と連携しながら学習を行う。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に運動に取り組んでいる。 ・チームでアドバイスしたり、励ましたりしながら運動することができる。 ・友達の動きに注目し、よさを見付ける力を高める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育ノートを活用し、本時の学習に見通しをもって取り組めるようにする。 ・グループで作戦を考えたり、その結果を振り返ったりする時間を設ける。 ・勝敗だけにこだわらず、チーム内での技能の向上や意識の変化などを大切に指導を行う。 	
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に声を出し、外国語に前向きに取り組む児童が多い。 ・アルファベットを書くことにほとんどの児童が慣れてきたが、大文字と小文字の違いを理解していない児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気を持続できるよう、課題提示の方法を工夫する。 ・アルファベットを書く活動を継続して取り入れ、大文字と小文字の違いに気を付けて指導を工夫する。 ・簡単な英語を使い、自分の気持ちや考えを伝え合う場を設け、お互いの良さを認め合えるよう指導する。 	